



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社 グランディーズ 上場取引所 東 福
 コード番号 3261 URL <https://www.grandes.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー (氏名) 伊藤 慶樹 TEL 097-548-6700
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	596	△25.5	△22	—	△22	—	△15	—
2025年12月期第1四半期	800	△20.2	△14	—	△17	—	△27	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △15百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 △27百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△3.75	—
2025年12月期第1四半期	△6.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,409	2,609	48.2
2025年12月期	5,548	2,686	48.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,609百万円 2025年12月期 2,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,500	3.5	60	—	45	—	30	—	7.32
通期	3,600	5.4	150	—	120	315.5	80	—	19.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	4,100,874株	2025年12月期	4,100,874株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	837株	2025年12月期	837株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	4,100,037株	2025年12月期 1 Q	4,100,037株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算短信補足説明資料の入手方法)

決算短信補足説明資料は、2026年5月8日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、物価上昇や金融政策の動向などにより、先行き不透明な状況が続いております。また、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊張の高まりを背景に、エネルギー価格や為替相場の変動が懸念される等、海外経済の不確実性も継続しております。

当社グループの属する国内不動産業界におきましては、建築資材価格や労務費の高止まりにより住宅販売価格が上昇する中、物価上昇の影響もあり実需層の住宅取得マインドは慎重に推移いたしました。一方で、都市部においては底堅い需要が見られるものの、地方都市では購入検討の長期化が見られる等、エリアによって需要動向に差異が見られております。また、販売競争の激化に伴う価格調整の動きもあり、事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、関東エリアにおいては底堅い需要を背景に、建築請負及び土地売買を中心に一定の取引が進み、概ね計画どおりに推移する等、収益は堅調に推移いたしました。一方で、九州四国エリアにおいては実需層の住宅取得マインドの慎重化や販売競争の激化の影響を受け、販売期間の長期化や成約件数の減少が見られる等、販売活動は低調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高596,323千円（前年同期比25.5%減）、営業損失22,239千円（前年同期は14,305千円の営業損失）、経常損失22,795千円（前年同期は17,772千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失15,388千円（前年同期は27,804千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①不動産販売事業

不動産販売事業におきましては、関東エリア1号物件となる埼玉県の投資用木造アパートを販売したものの、建売住宅の販売は低調となり、売上高は大きく減少し、セグメント損失となりました。この結果、売上高は304,984千円（前年同期比39.1%減）、セグメント損失は2,610千円（前年同期は58,000千円のセグメント利益）となりました。

②建築請負事業

建築請負事業におきましては、新築請負の受注は堅調に推移し、営繕・リフォームの受注に注力するとともに、コストカットによる収益性向上に努め、売上高は前年同水準、セグメント利益は大きく増加いたしました。この結果、売上高は301,348千円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は389千円（前年同期は38,031千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,746,876千円となり、前連結会計年度末に比べ527,595千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が308,244千円減少、販売用不動産が298,550千円増加、仕掛販売用不動産が509,307千円減少したこと等によるものであります。固定資産は663,103千円となり、前連結会計年度末に比べ388,999千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が336,340千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,409,979千円となり、前連結会計年度末に比べ138,595千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は924,105千円となり、前連結会計年度末に比べ237,794千円減少いたしました。これは主に、工事未払金が58,982千円減少、短期借入金が156,000千円減少、未払法人税等が30,433千円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,876,390千円となり、前連結会計年度末に比べ176,087千円増加いたしました。これは主に長期借入金が165,495千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,800,495千円となり、前連結会計年度末に比べ61,707千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,609,484千円となり、前連結会計年度末に比べ76,888千円減少いたしました。これは、剰余金の配当の支払いによる減少61,500千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少15,388千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.2%（前連結会計年度末は48.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、前回発表（2026年2月10日）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,085	699,840
売掛金	12,520	13,165
完成工事未収入金及び契約資産	37,843	38,825
販売用不動産	2,753,306	3,051,856
仕掛販売用不動産	1,081,014	571,707
未成工事支出金	24,150	11,263
その他	357,550	360,216
流動資産合計	5,274,471	4,746,876
固定資産		
有形固定資産		
土地	60,869	398,097
その他(純額)	26,730	25,843
有形固定資産合計	87,599	423,940
無形固定資産		
のれん	78,917	72,340
その他	1,479	41,022
無形固定資産合計	80,397	113,363
投資その他の資産	106,106	125,798
固定資産合計	274,103	663,103
資産合計	5,548,575	5,409,979
負債の部		
流動負債		
不動産事業未払金	65,365	77,049
工事未払金	132,210	73,228
短期借入金	477,000	321,000
1年内返済予定の長期借入金	172,692	184,721
未払法人税等	32,112	1,679
未成工事受入金	173,847	118,272
引当金	51,627	52,475
その他	57,043	95,679
流動負債合計	1,161,899	924,105
固定負債		
長期借入金	1,595,124	1,760,619
退職給付に係る負債	32,006	30,202
資産除去債務	17,399	17,410
引当金	49,072	50,115
その他	6,701	18,044
固定負債合計	1,700,302	1,876,390
負債合計	2,862,202	2,800,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	462,491	462,491
資本剰余金	514,984	514,984
利益剰余金	1,709,268	1,632,380
自己株式	△371	△371
株主資本合計	2,686,373	2,609,484
純資産合計	2,686,373	2,609,484
負債純資産合計	5,548,575	5,409,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	800,733	596,323
売上原価	645,351	467,833
売上総利益	155,381	128,490
販売費及び一般管理費	169,686	150,730
営業損失(△)	△14,305	△22,239
営業外収益		
受取利息	582	715
受取手数料	2,470	420
貸倒引当金戻入額	480	326
消費税差額	—	4,248
その他	1,333	587
営業外収益合計	4,866	6,299
営業外費用		
支払利息	6,294	6,844
その他	2,038	10
営業外費用合計	8,333	6,854
経常損失(△)	△17,772	△22,795
特別利益		
固定資産売却益	828	—
特別利益合計	828	—
特別損失		
固定資産除却損	96	—
特別損失合計	96	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,039	△22,795
法人税、住民税及び事業税	6,091	526
法人税等調整額	4,673	△7,932
法人税等合計	10,764	△7,406
四半期純損失(△)	△27,804	△15,388
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,804	△15,388

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△27,804	△15,388
四半期包括利益	△27,804	△15,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,804	△15,388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書の記載を省略しております。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	12,321千円	14,158千円
のれんの償却額	9,026千円	6,576千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 販売事業	建築請負 事業			
売上高					
顧客との契約 から生じる収益	477,828	299,058	776,886	—	776,886
その他の収益	22,961	885	23,846	—	23,846
外部顧客への 売上高	500,789	299,943	800,733	—	800,733
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	360	—	360	△360	—
計	501,149	299,943	801,093	△360	800,733
セグメント利益 又は損失 (△)	58,000	△38,031	19,969	△34,274	△14,305

(注) 1. セグメント利益の調整額△34,274千円には、全社費用△24,914千円その他、セグメント間の取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入であります。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 販売事業	建築請負 事業			
売上高					
顧客との契約 から生じる収益	276,544	298,351	574,896	—	574,896
その他の収益	21,427	—	21,427	—	21,427
外部顧客への 売上高	297,971	298,351	596,323	—	596,323
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	7,012	2,997	10,009	△10,009	—
計	304,984	301,348	606,333	△10,009	596,323
セグメント利益 又は損失 (△)	△2,610	389	△2,220	△20,019	△22,239
のれん償却額	6,576	—	6,576	—	6,576

(注) 1. セグメント利益の調整額△20,019千円には、全社費用△26,419千円のうち、セグメント間の取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入であります。